

FD
654

自昭和十九年十二月一日
至同年十二月三十一日

陣中日誌

22389

獨立歩兵第十五大隊通信班



12

七月一日

晴

於平安山
出張

歸 隊
轉 移
日 命

有線作業

一〇七四。岡南軍曹以下十五名出發既設電柱、撤收
作業ヲ實施シ一六三。歸隊ス

二〇八〇。奈良少尉ハ申受準備、為車行島尻郡喜
屋武ニ出張シ一八五。歸隊ス

三〇八〇。中村(政)上等兵以下五名ハ荷物宰領、為
自動貨車ニ便乘島尻郡屋嘉部ニ出張一八五。

歸隊ス
四一五。連絡予教育、為來隊中、小島一等兵以
下十四名ハ該教育終了シタルヲ以テ原所屬ニ

夫々復歸ス
五一五三。九五。一陣地ニアリシ無線通信所ヲ一四〇。

北谷國民學校ニ轉移ス

命六 石九六日命第一四四號拔萃左、如シ



現 勤 務

十二月二日 有線作業

曇(一時雨) 一〇七三〇 因南軍曹以下二十三名前日二列續キ

一 第三中隊 陸軍上等兵 上田定雄

第四中隊 同 上田喜義

右者陸軍兵長ヲ命ス

四 陸軍少尉 奈良健

右者申受準備ノ為本一日即日歸隊、豫定ヲ以

テ島尻郡屋嘉部ニ出張ヲ命ス

七 廻番下士官 宮城兵長

廻番上等兵 小野田上等兵

電信所 塚本上等兵以下二名

八 人員 奈良少尉以下四十三名

内 本部勤務 二名

軍犬 五頭

既設電柱ノ撤收作業實行シ一六四〇歸隊ス

エ 於平安山ノ上 勤務交代ヲ實施ス

一 一〇〇〇石十五作命第四六號、同四七號ヲ受領ス

二 一〇〇〇石十五作命第四六號拔萃左ノ如シ

三 各隊ハ現防衛任務ヲ移讓スルト共ニ別紙要

圖ノ地域ノ防衛ヲ擔任シ新作戦態勢ニ轉移

スルノ準備ヲ實施スベシ

四 防衛任務移讓及轉移實行ノ時期ハ後命ス

五 細部ニ關シテハ石十五作命第四二號同四三

號ニ準據スベシ

五 石十五作命第四七號拔萃左ノ如シ

二 大隊ハ主力ヲ以テ九日一九〇〇平安山ノ上出

發前項道路ヲ行軍シ概ネ廿日朝迄ニ玉城

村國民學校ニ到着シ新防衛態勢ニ轉移セン

於平安山ノ上 勤務交代 命令受領 命

十二月三日		行	勤	現
有線作業		五	六	七
一〇七三。岡南軍曹以下二十六名電柱撤收作業		著々轉移準備ヲ實施中ナリシモ右命令ニ基キ	廻番下士官 岩本兵長	人員 奈良少尉以下四十三名
ニ出發コレヲ完了一二三。歸隊ス		計畫ヲ速進セシメ行軍編成輸送並ニ新防衛地	廻番上等兵 竹内上等兵	内 本部勤務 二名
一四〇。ヨリ一時間三十分岡南軍曹ハ全員ニ對		域ノ通信網構成等ノ計畫ヲ樹立ス	電 信 所 中村(幸)上等兵以下二名	軍犬 五頭
シ銃劍術ヲ實施ス				
三 石九六日命第一四五號拔萃左ノ如シ				
三 陸軍伍長 谷口弘				
六 任陸軍軍曹				
陸軍兵長 宮城忠信				
任陸軍伍長 (以上十二月一日附)				
一五 第一中隊 陸軍伍長 宮城忠信				
右者頭書ノ中隊附ヲ命ズ (十二月一日附)				
前日ニ同シ				
人員 奈良少尉以下四十三名				
内 本部勤務 二名				

於平安山ノ上		日	勤	現
料		命	務	員
一〇七三。岡南軍曹以下二十六名電柱撤收作業		三	四	五
ニ出發コレヲ完了一二三。歸隊ス		三	四	五
一四〇。ヨリ一時間三十分岡南軍曹ハ全員ニ對		三	四	五
シ銃劍術ヲ實施ス		三	四	五
三 石九六日命第一四五號拔萃左ノ如シ		三	四	五
三 陸軍伍長 谷口弘		三	四	五
六 任陸軍軍曹		三	四	五
陸軍兵長 宮城忠信		三	四	五
任陸軍伍長 (以上十二月一日附)		三	四	五
一五 第一中隊 陸軍伍長 宮城忠信		三	四	五
右者頭書ノ中隊附ヲ命ズ (十二月一日附)		三	四	五
前日ニ同シ		三	四	五
人員 奈良少尉以下四十三名		三	四	五
内 本部勤務 二名		三	四	五

軍犬

五頭

十二月四日 伐木

一〇七三〇 函南軍曹以下二十三名出發 電柱用松

丸太伐木作業ヲ實施シ一六一〇 歸隊ス

二 石九六日命第一四六號 拔萃左ノ如シ

三 左ノ通り本部日直並部隊巡察將校ニ服務スベ

シ

服務月日 日直將校 部隊巡察將校

十二月七日 奈良少尉

五 本職明五日即日歸隊、豫定ヲ以テ陣地偵察
ノ為鳥尻郡屋嘉部ニ出張ス

本部附將校(軍醫主計ハ各一)副官並ニ各

中隊長ハ本職ニ隨行スベシ

依テ七時五十分迄ニ本部前ニ集合スベシ

服裝ハ軍獨ノ服裝トシ晝食携行ノコト

現勤 務三 前日ニ同シ

員四 人員 奈良少尉以下四十三名

本部勤務 二名

軍犬 五頭

十二月五日 出張

曇後雨 一〇八〇 隊長ハ陣地偵察、為部隊長ニ隨行屋

嘉部ニ出張シ一八五〇 歸隊ス

二 一〇三〇ヨリ一時間舎前ニ於テ軍裝検査ヲ實施ス

三 午後ヨリ休養トシ外出ヲ許可サル

現勤 務四 前日ニ同シ

員五 人員 奈良少尉以下四十三名

本部勤務 二名

命令受領

十二月六日

晴

於平安山上

日命

現勤 務三 前日ニ同シ

員四 人員 奈良少尉以下四十三名

本部勤務 二名

軍犬 五頭

曇後雨 一〇八〇 隊長ハ陣地偵察、為部隊長ニ隨行屋

嘉部ニ出張シ一八五〇 歸隊ス

二 一〇三〇ヨリ一時間舎前ニ於テ軍裝検査ヲ實施ス

三 午後ヨリ休養トシ外出ヲ許可サル

現勤 務四 前日ニ同シ

員五 人員 奈良少尉以下四十三名

本部勤務 二名

命令受領

十二月六日

雨
於平守山上

一 一〇〇。石十五作命第四九號ヲ受領ス

二 石十五作命第四九號拔萃左ノ如シ

一新駐地當山屋嘉部富里ニハ傳染病發生シ

アリ

ニ大隊ハ石十五作命第四六號ニ抱ラズ當分ノ間

左記ノ如ク宿營セントス

左記

大隊本部 通信班 富名勝

學科

三 一〇三。ヨリ隊長ハ班内ニ於テ敵ノ上匪要領、

橋頭堡攻撃ノ戰法並ニ之ニ伴フ通信實施、轉

進地ニ於ケル諸注意ヲ學科ス

尚電氣的通信ニ依ラザル斬新ナル通信ノ考案

ヲ宿題トシテ要求シ一ニ〇。終了ス

作命

一六。石十五作命第五〇號同五一號ヲ受領ス

一 在玉城村申送部隊並ニ地方側ニハ十一月上旬

以降腸チブスパラチブス、赤痢患者多發シ現在

猖獗ヲ極メアリ

ニ各隊ハ新防衛地區到着時ヨリ第二期防疫ヲ

實施シ病毒侵入ノ防止傳染経路ノ隔絶傳染

源ノ芟除、個人的衛生法ノ徹底ニヨリ傳染病

豫防ノ完璧ヲ期スベシ

五 細部ニ關シテハ防疫委員長指示スベシ

石命令ニ基キ防疫準備ノ為蠅驅除材料ヲ携行

スバク準備シ隊長ハ午前ノ學科ニ補足シ全員

ニ對シ要圖ヲ以テ防疫諸注意ヲ學科ス

作命

七 石十五作命第五一號拔萃左ノ如シ



行 動
現 日
命 九

三 大隊本部及各中隊長ハ別紙差出兵カヲ明セ
 日一九。〇以降遠藤大尉、指揮ニ入ラシムベ
 シ 自今之ガ給養ハ後發隊長擔任スベシ
 四 輸送並申送、細部ニ關シテハ遠藤大尉ヲシテ
 指示セシム
 石十五作命第五一號別紙
 兵力差出區分表

差出隊	分將	校	下士官	兵	計	備	費
通信班			一	八	九		

ハ後發者岩本兵長以下九名(電信所勤務ヲ含ム)ヲ編
 成、右命令別紙指示並ニ諸要務ヲ與フ
 石九六日命第一四八號拔萃左ノ如シ
 五 陸軍少尉 奈良健
 石兵團會報參列、為明七日即日歸隊ノ豫定
 ヲ以テ師團司令部ニ出張命ス
 六 各隊ハ左記ノ通り明七日十時迄ニ團場設營
 者ヲ差出シ本部石川准尉、指揮ニ入ラシムハシ
 左 記

會 報
現 勤
員 務

石九六會第一三〇號拔萃左ノ如シ
 一 地圖ニ就キテ
 ハ自今上司ヘノ報告モノニ使用スル地圖ハ
 其ノ指示ニ基キ二万五千分ノ一地形圖ニヨ
 ルヲ本則トス
 二 前日ニ同シ
 三 人員 奈良少尉以下四十三名



内 本部勤務

二名

軍犬

五頭

編成下達

十二月七日
曇時々雨

一日朝點呼時今次轉進、編成ヲ下達ス

於平安山上

編成表別紙第一ノ如シ

後發隊内譯表別紙第二ノ如シ

出 張 二〇八〇。奈良少尉ハ兵團會報參列ヲ命セラレ師

團司令部ニ出張一四三〇歸隊ス

先 梱 包 三 午前中全員ヲ以テ諸物品ノ梱包ヲ實施ス

先 發 四〇九五〇小野田上等兵ハ石九六日命第一四八號

ニ基キ團場談話者トシテ石川准尉、指揮ニ入

リ先發ス

撤 收 五 一三〇ヨリ有線網ノ撤收ヲ開始一六〇〇完了歸

隊ス

部隊轉進に伴フ編成表

昭和五年

通信班

通信班班長 佐野 軍務課通信所勤務

佐良

健者

一等兵 中村政一 上等兵 榮 正

班長	佐野	軍務課通信所勤務	佐良	健者
一等兵	中村政一	上等兵	榮	正
二等兵	高田	一等兵	高田	正
三等兵	高田	二等兵	高田	正
四等兵	高田	三等兵	高田	正
五等兵	高田	四等兵	高田	正
六等兵	高田	五等兵	高田	正
七等兵	高田	六等兵	高田	正
八等兵	高田	七等兵	高田	正
九等兵	高田	八等兵	高田	正
十等兵	高田	九等兵	高田	正
十一等兵	高田	十等兵	高田	正
十二等兵	高田	十一等兵	高田	正
十三等兵	高田	十二等兵	高田	正
十四等兵	高田	十三等兵	高田	正
十五等兵	高田	十四等兵	高田	正
十六等兵	高田	十五等兵	高田	正
十七等兵	高田	十六等兵	高田	正
十八等兵	高田	十七等兵	高田	正
十九等兵	高田	十八等兵	高田	正
二十等兵	高田	十九等兵	高田	正
二十一等兵	高田	二十等兵	高田	正
二十二等兵	高田	二十一等兵	高田	正
二十三等兵	高田	二十二等兵	高田	正
二十四等兵	高田	二十三等兵	高田	正
二十五等兵	高田	二十四等兵	高田	正
二十六等兵	高田	二十五等兵	高田	正
二十七等兵	高田	二十六等兵	高田	正
二十八等兵	高田	二十七等兵	高田	正
二十九等兵	高田	二十八等兵	高田	正
三十等兵	高田	二十九等兵	高田	正
三十一等兵	高田	三十等兵	高田	正
三十二等兵	高田	三十一等兵	高田	正
三十三等兵	高田	三十二等兵	高田	正
三十四等兵	高田	三十三等兵	高田	正
三十五等兵	高田	三十四等兵	高田	正
三十六等兵	高田	三十五等兵	高田	正
三十七等兵	高田	三十六等兵	高田	正
三十八等兵	高田	三十七等兵	高田	正
三十九等兵	高田	三十八等兵	高田	正
四十等兵	高田	三十九等兵	高田	正
四十一等兵	高田	四十等兵	高田	正
四十二等兵	高田	四十一等兵	高田	正
四十三等兵	高田	四十二等兵	高田	正
四十四等兵	高田	四十三等兵	高田	正
四十五等兵	高田	四十四等兵	高田	正
四十六等兵	高田	四十五等兵	高田	正
四十七等兵	高田	四十六等兵	高田	正
四十八等兵	高田	四十七等兵	高田	正
四十九等兵	高田	四十八等兵	高田	正
五十等兵	高田	四十九等兵	高田	正
五十一等兵	高田	五十等兵	高田	正
五十二等兵	高田	五十一等兵	高田	正
五十三等兵	高田	五十二等兵	高田	正
五十四等兵	高田	五十三等兵	高田	正
五十五等兵	高田	五十四等兵	高田	正
五十六等兵	高田	五十五等兵	高田	正
五十七等兵	高田	五十六等兵	高田	正
五十八等兵	高田	五十七等兵	高田	正
五十九等兵	高田	五十八等兵	高田	正
六十等兵	高田	五十九等兵	高田	正
六十一等兵	高田	六十等兵	高田	正
六十二等兵	高田	六十一等兵	高田	正
六十三等兵	高田	六十二等兵	高田	正
六十四等兵	高田	六十三等兵	高田	正
六十五等兵	高田	六十四等兵	高田	正
六十六等兵	高田	六十五等兵	高田	正
六十七等兵	高田	六十六等兵	高田	正
六十八等兵	高田	六十七等兵	高田	正
六十九等兵	高田	六十八等兵	高田	正
七十等兵	高田	六十九等兵	高田	正
七十一等兵	高田	七十等兵	高田	正
七十二等兵	高田	七十一等兵	高田	正
七十三等兵	高田	七十二等兵	高田	正
七十四等兵	高田	七十三等兵	高田	正
七十五等兵	高田	七十四等兵	高田	正
七十六等兵	高田	七十五等兵	高田	正
七十七等兵	高田	七十六等兵	高田	正
七十八等兵	高田	七十七等兵	高田	正
七十九等兵	高田	七十八等兵	高田	正
八十等兵	高田	七十九等兵	高田	正
八十一等兵	高田	八十等兵	高田	正
八十二等兵	高田	八十一等兵	高田	正
八十三等兵	高田	八十二等兵	高田	正
八十四等兵	高田	八十三等兵	高田	正
八十五等兵	高田	八十四等兵	高田	正
八十六等兵	高田	八十五等兵	高田	正
八十七等兵	高田	八十六等兵	高田	正
八十八等兵	高田	八十七等兵	高田	正
八十九等兵	高田	八十八等兵	高田	正
九十等兵	高田	八十九等兵	高田	正
九十一等兵	高田	九十等兵	高田	正
九十二等兵	高田	九十一等兵	高田	正
九十三等兵	高田	九十二等兵	高田	正
九十四等兵	高田	九十三等兵	高田	正
九十五等兵	高田	九十四等兵	高田	正
九十六等兵	高田	九十五等兵	高田	正
九十七等兵	高田	九十六等兵	高田	正
九十八等兵	高田	九十七等兵	高田	正
九十九等兵	高田	九十八等兵	高田	正
一百等兵	高田	九十九等兵	高田	正

軍犬

五頭

十二月八日

曇時々雨

於系教

大休止

一。一四。國場ニ進出大休止ス

二。一四。國場ニ進出大休止ス

三。一五。整列完了。四。一〇。大休止。出發屋嘉部ニ

命令受領四。六三。富名隊ニ於テ石十五作命第五二號ヲ

受領ス

作命五。石十五作命第五二號拔萃左ノ如シ

二。本部各隊ハ設營者ノ誘導ニ依リ別紙要圖

ノ如ク宿營シ新作戦態勢ニ轉移スベシ

五。通信班ハ速カニ大隊本部ト對空對海監視哨

及各隊間ノ有線通信ニ任ズベシ

六。諸勤務ニ關シテハ別命ス

行宿 勅營

六。石命令配宿要圖ニ基キ。六四。系教宿營地ニ

到着。直下ニ隊長以下十七名出發。有線網構成地

速作業ヲ開始。先ヅ對海對空監視哨。本部間

ヨリ著キス

命令受領七。九。石十五作命第五三號ヲ受領ス

作命八。石十五作命第五三號拔萃左ノ如シ

一。本八日。一三三。丙號戰備下令サル

四。各隊ハ石十五作命第三四號別紙戰備ノ度ニ關

スル規定ニ準據スル外特ニ左記諸項ニ留意ス

ベシ

左記

一。退避壕ヲ速カニ調査シ退避ヲ準備スベシ

二。偽裝遮蔽ニ徹底シ兵器彈藥資材ハ勉メテ

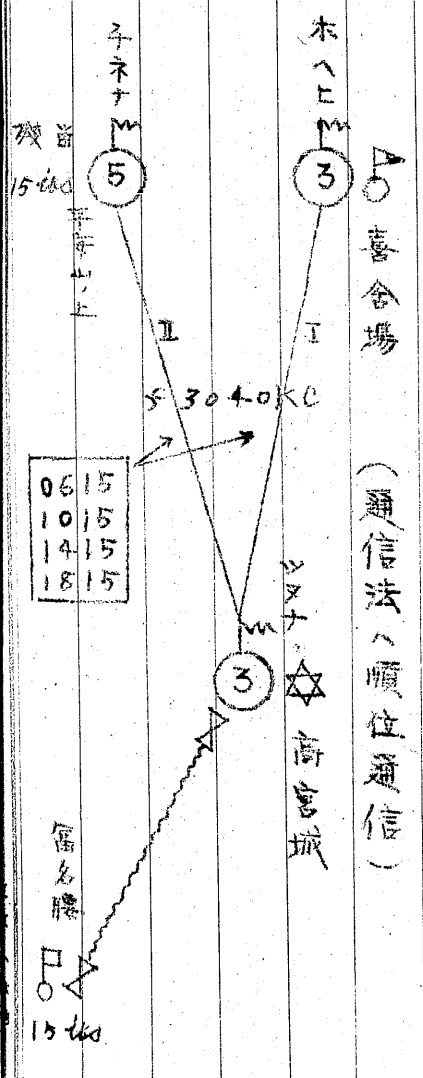


掩蔽_下ニ分散配置スベシ

3. 連絡施設不充ナルヲ以テ各隊毎ニ對空監視ヲ嚴ニ實施スベシ

班ハ直ニ丙號戰備ニ轉移距離ノ遠近據ニテ設定偽裝遮蔽ヲ完全ナラシム 對空監視ニハ廻番勤務者ヲシテ任ゼシム

通信諸元。一。一五以降殘留隊一旅團間、無線通信諸元ヲ左記要圖ノ如ク變更實施ス



到著二一。二。第三梯團ヲ行動セシ森山上等兵車輛ト共ニ到着ス

延線三到着ト同時ニ實施中ノ延線作業ハ緊急方面ヲ終了一五。休止シ一六。ヨリ各中隊間、通信網構成ノ為出發一九三。歸隊ス

命令受領三一六。石十五作命第五四號ヲ受領ス

作命四石十五作命第五四號拔萃左ノ如シ
一各隊長ハ左記順序ヲ以テ陣地構築ヲ準備スベシ

左記

1. 甲號戰備

應急戰備ヲ採リ得ル如ク中隊全員ヲ以テ取敢ズ既設陣地ニ配備シ防禦戰圖要領ヲ教育スルコト

既設陣地ノ檢計

先般示シタル防禦戰圖指導要領ニ基キ對

抗演習ヲ實施シテ陣地ノ特徴ト缺陷ト

ヲ觀察スルコト

陣地構築計畫

第二項檢計ニ基キ陣地ノ補修ト増強並

新設トヲ計畫スルコト

陣地構築——工事開始

命五 石九六日命第一五。號拔萃左ノ如シ

一部隊衛兵ヲ本八日一六。ヨリ左ノ順序ニ服

務スベシ

一 奈良隊 二 松田隊

三 天倉隊 四 直轄小隊

五 淺尾隊

二 部隊ハ輸送荷物卸集積連絡所ヲ稻嶺

驛ニ開設ス

三 各隊ハ右要員トシテ左ノ通り兵カラ明九日十

時迄ニ本部ニ差出スベシ

左 記

一 下士官一、兵二

二 系教地區舍營巡察下士官 岡南軍曹

三 週番下士官 宮城伍長

四 週番上等兵 森山上等兵

五 部隊衛兵 上田(喜)兵長以下五名

六 暗 班 柴田上等兵

七 人員 奈良少尉以下四十三名

八 内 後發者 十一名

九 本部勤務 二名



現

勤

務

員

次 事 一名

軍 六

五 頭

有線作業

十月九日

一〇八〇ヨリ谷口軍曹以下八名各中隊間、拙速

於糸教

延線作業ニ出發一六三。歸隊ス

出 派

二〇八三。奈良少尉ハ部隊長ニ隨行シ陣地偵察

分 遣

ノ為出發一六二。歸隊ス

教育終了

三〇九三。宮城伍長以下三名稻嶺荷物卸下集積

日 命

連絡所ニ分遣ヲ命セラレ出發ス

實施中

軍犬基本教育ハ本日ヲ以テ終了ス

石九六日命第一五一號拔萃左ノ如シ

第一中隊 陸軍上等兵 上嶋榮太郎

第三中隊 同 横 柿 音 松

第四中隊 同 中 村 熊 男

右者第一期軍犬基本教育終了セルヲ以テ原所

屬ニ復歸ヲ命ズ

依而明朝朝食後所屬ニ復歸スバシ

會 報 六 石九六會第一三三號拔萃左ノ如シ

ニ當分ノ間左記ノ如ク定評診斷ヲ實施スルニ付承

知ノコト

左 記

ノ場所 玉城村役場

ス日時 月水金曜日 自〇九〇〇

週番下士官 岡南軍曹

週番上等兵 森山上等兵

暗 號 班 柴田上等兵

人員 奈良少尉以下四十名

内 後發者 十一名



現 勤 務

會 報

十二月十日
晴後曇
於系教日命

有線作業

一。八。谷口軍曹以下十八名出發批速延線工事及

既設線一部撤收作業實施シ一八四。歸隊ス

二。石九六日命第一五二號拔萃左ノ如シ

四。第四中隊 陸軍一等兵 大西周太郎

右者陸軍上等兵ヲ命ス

五左ノ通り本部日直並巡察將校ニ服務スベシ

分遣	三名
本部勤務	二名
炊事	一名
軍犬	五頭

月日	今日	直將校	巡察將校
十二月十三日	奈良少尉		

現勤

員務

三前日ニ同シ

四人員 奈良少尉以下四十名

内 後發者 十一名

分遣 三名

本部勤務 二名

炊事 一名

軍犬 五頭

十二月十日 有線作業

一。八。谷口軍曹以下十二名出發前日ニ引續キ

於系教月 各中隊間ノ延線作業實施一八一。歸隊ス

到著 一。三。疾患ノ為後發隊トナリ前防衛地區ニ

命令受領三 一五四。石十五作命第五六號ヲ受領ス

作命四 石十五作命第五六號拔萃左ノ如シ

一 稻嶺西北側高地附近ニ集積中ノ球部隊彈藥
 八一五三〇頃ヨリ爆發中ニシテ稻嶺驛ニ集積
 中ノ大隊彈藥モ亦危險ニ類シツツアリ
 三 各隊長(配屬部隊ヲ除ク)ハ速カニ一ヶ小隊(將
 校以下二〇名)ヲ稻嶺東北ニ〇〇米十字路ニ
 急派シ三輪大尉、指揮ニ入ラシムベシ
 服裝ハ徒手鐵帽携行トス
 五 右命令ニ依リ隊長以下應役全員八名八一六一
 〇急據出動三輪大尉、指揮ニ入り稻嶺驛ニ
 於テ彈藥、安全地帯搬送ニ任ジ一九四〇歸隊
 ス
 六 前日ニ同シ
 七 人員 奈良少尉以下四十名
 八 後發者 九名

行動

現勤員務

十二月十日 有線作業
 雨一時曇
 於系 救火
 休養ニ 午前中ハ兵器被服、午入ヲ實施、午後ハ班内
 休養ス
 出張 一四二。飼田兵長ハ日命第一五四號ニ依リ暗
 號書交休付、為北谷國民學校ニ出張ス
 分遣 一五三。上田(喜)兵長ハ稻嶺荷物集積連絡所
 二分遣ヲ命ゼラレ出發ス
 分遣歸隊 一七一。宮城伍長ハ稻嶺荷物集積連絡所ニ分

分遣	三	名
出張	二	名
分遣	一	名
分遣	五	頭

本部勤務 二名
 炊事 一名
 軍犬 五頭

